

かすみがうら市・石岡市・小美玉市

広報

# 国道6号バイパス

2018年4月1日号 発行/国道6号バイパス建設促進期成会 事務局/石岡市都市建設部都市計画課



▲現地説明会に展示された出土した縄文土器等

▲現地説明会の様子

## 埋蔵文化財の発掘調査が実施されました



▲現地説明会における発掘調査現場見学の様子

国土交通省関東地方整備局から委託された公益財団法人茨城県教育財団により、国道6号千代田石岡バイパス建設事業に伴う文化財保護法に基づく東田中遺跡の発掘調査が実施されました。平成29年11月5日には、現地説明会が開催され、茨城県内外から175名の来場者がありました。

今回の調査では、縄文時代中期(約4500年前)を中心とする遺物包含層、貝層などが発見されました。遺物包含層からは、おびただしい量の縄文土器が出土しており、1日でコンテナ(50cm×30cm×18cm)50箱も出土した日もありました。貝層は、ハマグリ、サルボウ、マガキなどの海水域に生息する貝が目立ちます。このことから、当時は当遺跡の近くまで海水域が広がっていたと考えられます。当時の人々が、内海となっていた霞ヶ浦の恵みを利用しながら生活していた様子がうかがえます。

計画諸元			
路線名	国道6号	標準幅員	一般部30.0m 橋梁部25.5m
延長	15.7km(事業化区間:5.8km)	車線数	4車線
区間	自:茨城県土浦市中貫 至:茨城県石岡市東大橋	道路の区分	3種1級
		設計速度	80km/時



位置図

**国道6号千代田石岡バイパスってどんな道路なの？**  
石岡市街地の交通渋滞緩和と交通拠点へのアクセス機能の強化を図ります。

土浦市から石岡市までの一般国道6号は、日交通量が約4万台に達しており、常磐道千代田石岡IC付近及び石岡市街地では慢性的な交通渋滞や沿道での事故が多発しています。このような問題を解消するために千代田石岡バイパスは計画されました。

本バイパスの整備により、石岡市内に混入する通過交通を分散させることで、交通渋滞の緩和や安全性の確保、さらには茨城空港へのアクセス時間の向上など、物流機能の強化や地域産業の振興に大きな効果が期待されます。



▲恋瀬橋付近の混雑状況

## 国道6号 千代田石岡バイパス完成予想



▲石岡市石岡付近



▲石岡市東田中付近

編集後記

平成16年に着工された国道6号千代田石岡バイパスは、完成に向けて少しずつではありますが着実に前進しています。本広報誌をきっかけとして、皆様に一層の興味や関心を抱いていただけたら幸いです。当期成会は、一日も早い事業完成を目指して、今後も積極的な要望活動を行ってまいります。

問合せ先

石岡市都市建設部都市計画課 ☎0299-23-1111  
かすみがうら市都市産業部都市整備課 ☎029-897-1111  
小美玉市都市建設部特定プロジェクト整備課 ☎0299-48-1111





▲東田中地区の改良工事の様子



▲恋瀬川橋の床版工事の様子

ます。  
直接受ける床部分の  
工事（車等の加重を  
受ける床部分の  
工事）に着手してい  
ます。

昨年年度に引き続き、東田中地区の道路改良工事（盛土や切土の工事）を進めるとともに、平成29年12月からは恋瀬川橋の床版工事（車等の加重を直接受ける床部分の工事）に着手しています。

工事が進んでいます

国道6号千代田石岡バイパスは平成9年3月に土浦市中貫く石岡市東大橋までの15.7km区間について都市計画決定され、そのうち、かすみがうら市市川く石岡市東大橋までの5.8km区間が平成10年度に事業化されており、現在、国土交通省により暫定2車線による整備が進められています。



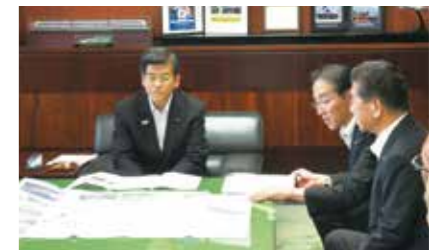
▲国土交通省大臣室にて石井大臣と(左から6番目)



▲要望活動の様子(関東地方整備局)



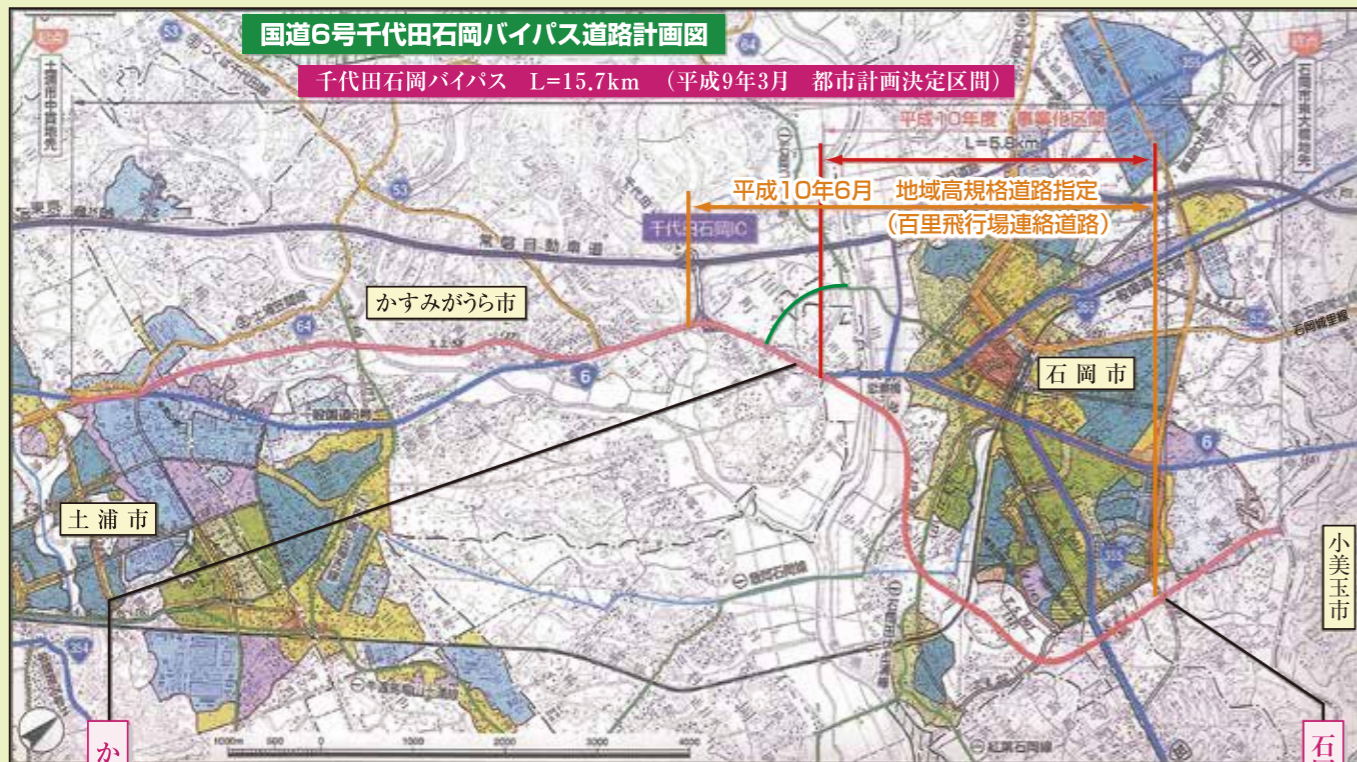
▲関東地方整備局にて丹羽道路部長(右側)



▲要望活動の様子(国土交通省)

事業の進捗状況

※用地買収の進捗率は、平成29年3月末現在(面積ベース)のものです。



かすみがうら市市川地区～石岡市東大橋地区  
用地進捗率: 約91%

H29年度  
調査設計  
東田中地区ほか用地買収  
東田中地区ほか改良工事

「一般国道6号千代田石岡バイパス・美野里バイパス整備促進要望書」を提出しました

国道6号バイパス建設促進期成会では、平成29年8月7日に国土交通省や関東地方整備局、財務省などの関係機関や、地元選出の国会議員に対して要望書を提出し、かすみがうら市市川から石岡市東大橋までの整備促進及び残区間の早期事業化、美野里バイパスの早期都市計画決定、さらに当事業における事業費の確保についての要望活動を行いました。

当期成会の今泉文彦会長(石岡市長)は、各省庁等の対応者に対し、石岡市周辺部における国道6号の慢性的な交通渋滞により、地域産業や観光の振興、さらには沿線住民の日常生活にまで大きな支障となっている現状や、地域の安全確保に不安を抱えている状況について説明し、国道6号バイパスが一日も早く完成することを強く要望しました。

これを受けて、石井啓二国土交通大臣は「国道6号バイパスは平成10年度に事業化してもう20年が経過する。互いに協力して早期完成を目指していければと考えている。皆様方のお力をお借りしたい。」とのご意向を述べられたことにより、今後の事業の進展に大いに弾みがつくものと期待しております。

当期成会では、国道6号千代田石岡バイパスの早期完成を目指して、これからも継続的に要望活動を実施して参ります。